

令和6年度 林業普及週間現地情報(11/3～11/8)

森林管理課

今帰仁村内クスノキ優良林調査の実施

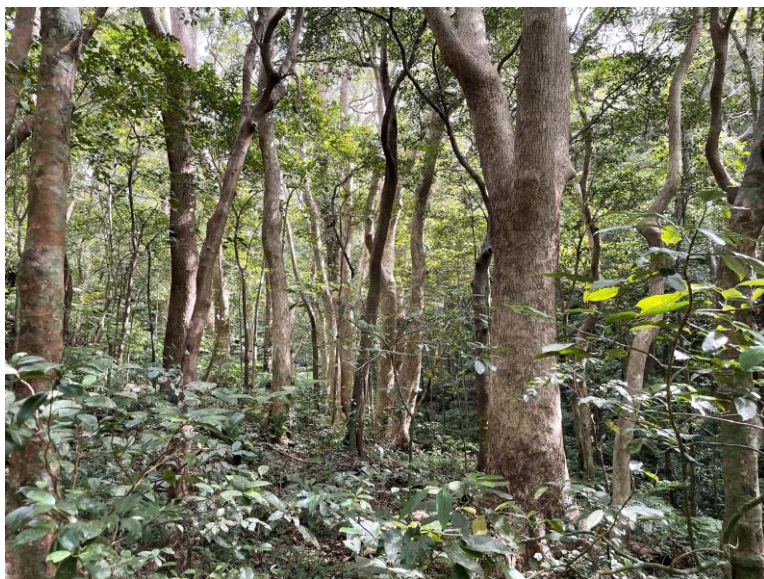
11月6日（水）、7日（木）

令和6年11月6日及び7日、沖縄北部森林組合、今帰仁村、県北部農林水産振興センター、県森林資源研究センターの職員で今帰仁村内のクスノキ優良林の現況調査を行った。

今帰仁村には、昔樟脳生産を目的として多くのクスノキが植栽されており、現在も当時植栽されたと思われる優良なクスノキ林が複数点在しており、今後の活用等が期待される。そこで今回は特に優良であることが把握できていた2林分においてデータ化し、今後の活用計画に繋いでいけるようにクスノキ林の範囲及びサイズ等を調査した。

調査の結果、胸高直径70cm以上の個体も多くあり、林分としてまとまった面積でも残存していることを把握することができた。特に7日に調査した林分のうち、非常に優良な区域（0.5ha程度）では、平均胸高直径が60cm程度、蓄積は1,000m³/haを大きく超える結果が得られた。本調査データは今後整理したうえで、今帰仁村に提供予定としている。

今後も今帰仁村の活用計画に向けて支援し、地域材利用の推進等を図っていきたい。また今回調査した林分は本県クスノキ林のモデル林として、クスノキ林の管理の参考とし、将来の優良林育成に向けて取り組んでいきたい。



調査したクスノキ林



調査状況

（報告者：北部農林水産振興センター 仲里、佐野、西岡、國吉）